

オプション検査

料金は税込です

<p>喀痰検査 (細胞診)</p>	<p>喀痰に含まれる細胞の分析検査。 肺がんのうち、PET/CTだけでは発見が難しい太い気管・気管支に発生するがんを検査します。40歳以上で半年以内に血痰などの症状があった方や、50歳以上で喫煙指数(1日に吸うタバコの本数×年数)が600を超える方は、是非お勧めいたします。</p>	<p>¥2,200</p>																									
<p>アミノインデックス リスクスクリーニング (採血検査)</p>	<p>三大疾病と認知機能低下のリスクスクリーニング検査。 現在がんである可能性、10年以内の脳卒中・心筋梗塞発症リスク、4年以内の糖尿病発症リスク、現在認知機能が低下している可能性を評価する検査です。一度の検査で複数のがんの可能性を同時に評価します。早期のがんにも対応しています。</p> <table border="1" data-bbox="372 660 1293 867"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>評価内容</th> <th>対象年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">男性 (5種)</td> <td>胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん</td> <td>25～90歳</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>40～90歳</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">女性 (6種)</td> <td>胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん</td> <td>25～90歳</td> </tr> <tr> <td>子宮がん・卵巣がん</td> <td>20～80歳</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="372 909 1293 1116"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>評価内容</th> <th>対象年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">男性 女性</td> <td>10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク</td> <td>30～74歳</td> </tr> <tr> <td>4年以内に糖尿病を発症するリスク</td> <td>20～80歳</td> </tr> <tr> <td>血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ</td> <td>20～80歳</td> </tr> <tr> <td>現在認知機能が低下している可能性</td> <td>50～100歳</td> </tr> </tbody> </table>	性別	評価内容	対象年齢	男性 (5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25～90歳	前立腺がん	40～90歳	女性 (6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25～90歳	子宮がん・卵巣がん	20～80歳	性別	評価内容	対象年齢	男性 女性	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	30～74歳	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20～80歳	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	20～80歳	現在認知機能が低下している可能性	50～100歳	<p>¥22,000</p>
性別	評価内容	対象年齢																									
男性 (5種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん	25～90歳																									
	前立腺がん	40～90歳																									
女性 (6種)	胃がん、肺がん、大腸がん、膵臓がん、乳がん	25～90歳																									
	子宮がん・卵巣がん	20～80歳																									
性別	評価内容	対象年齢																									
男性 女性	10年以内に脳卒中・心筋梗塞を発症するリスク	30～74歳																									
	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20～80歳																									
	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	20～80歳																									
	現在認知機能が低下している可能性	50～100歳																									
<p>ロックスインデックス (採血検査)</p>	<p>脳梗塞・心筋梗塞の将来の発症リスクを判断することが出来る検査です。 動脈硬化の進行から将来の脳梗塞、心筋梗塞の発症までを予測できる検査です。検査の目的は、脂質異常症とそれに伴う、動脈硬化病変および脳血管疾患を、発症前に発見し、予測して生活習慣を改善することで予防をすることです。</p>	<p>¥22,000</p>																									
<p>甲状腺機能検査 (FT3・FT4・TSH) (採血検査)</p>	<p>FT3・FT4は甲状腺ホルモン FT3・FT4を測定することで甲状腺ホルモンの過不足を調べることができます。 TSHは甲状腺を刺激するホルモン 脳の下にある下垂体から分泌されるホルモンで、甲状腺を刺激する役割があります。</p>	<p>¥4,400</p>																									
<p>胃内視鏡検査</p>	<p>胃・十二指腸内視鏡検査とピロリ菌検査。 PET検査での発見が難しいこともある胃癌や胃潰瘍などを検査します。 ※検査結果の状況により検体を採取する場合があります。 その際には別途保険にて診療費が発生します。</p>	<p>¥15,400 ※</p>																									
<p>★大腸内視鏡検査</p>	<p>大腸内視鏡検査。 PET検査での発見が難しいこともある大腸ポリープやがんを検査します。 ※ポリープを切除した場合、すべて保険診療に切り替わります。</p>	<p>¥18,700 ※</p>																									
<p>CTファットスキャン (体脂肪)</p>	<p>腹部CTによる体脂肪解析。 腹腔内の脂肪沈着の程度を定量的に解析診断します。</p>	<p>¥2,200</p>																									
<p>骨密度測定</p>	<p>日本骨粗鬆症学会のガイドラインに沿った骨密度測定を行います。 検査部位は、腰椎と大腿骨です。骨粗鬆症は、早期にリスクを知り対策することで予防や管理が可能です。</p>	<p>¥4,950</p>																									

★ 印のオプションについては別日実施になりますので予めご了承ください。